

特別委員会

現在設置されている3つの特別委員会の活動内容などについて、委員長が紹介します。



公共施設対策特別委員会

公共施設の整備およびマネジメントの諸問題を調査するための委員会です。市役所庁舎、消防署の整備や公共施設マネジメント関連について調査研究を進めていく予定です。



公共施設対策特別委員会
杉浦 智子 委員長

市内の交通、交通安全の諸問題を調査するための委員会です。通学路・未就学児園外活動における交通安全対策事業などの交通安全対策の取り組みや、駅舎のバリアフリー化、地域公共

ICT活用対策特別委員会

ICTを活用した市民サービスの向上や、行政の効率化について調査するための委員会です。市は現在、新型コロナウイルス感染症対策の観点からも、行政サービスへのICTの活用を進めており、9月の委員会では、行政手続きのオンライン化や納税のキャッシュレス決済サービス対応などについて調査しました。



ICT活用対策特別委員会
改田 勝彦 委員長

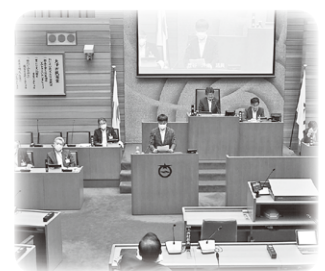
交通の現状と、道路等施設マネジメント方針などについて、調査研究を進めていく予定です。



交通対策特別委員会
草野 聖地 委員長

令和元年度決算を審査しました 決算認定の賛否を活発に討論！

本通常会議では決算議案を慎重に審査しました。本会議最終日には9人が討論し、採決の結果、全ての決算議案を認定しました。ここでは、一般会計の決算認定に係る討論の主な内容を紹介します。



賛成

▼地方公共団体にとつて厳しい財政運営が続く中、黒字決算を堅持されたことを評価します。

これまで市債の繰り上げ償還が進められた一方で必要な投資や整備が十分に行われておらず、将来世代への課題の先送りとなることを指摘してきましたが、市長が代わり、将来世代の経済的負担軽減と、現役世代への税の再分配・将来への投資のバランスが取れた予算執行となることを期待します。また、いじめだけでなく不登校や子どもの貧困対策など複雑多様化する子どもを取り巻く課題に対応するため教育環境を充実させることや、まちづくり協議会の設立に向けた丁寧な支援を行うことなどを求めます。

立大津市民病院への財政的支援の充実、中学校給食の全市実施、幼児教育・保育無償化の開始に伴う子育て支援施策などを積極的に推進され、総合計画に位置付けられた基本方針に基づき、バランスの取れた予算執行に努められた結果、42年連続の黒字決算となったことを大いに評価します。

先行きの不透明なコロナ禍においては、地方自治体の果たす役割は大きいものがあります。今後も佐藤市長を筆頭に、市民の暮らし、健康、子育て、学び、インフラの充実などにまい進されることを期待し、賛成します。▼節目ごとの適切な予算措置により、多くの市民が求める事業を執行したことを評価します。一方、計画を策定している各事業の進捗管理の徹底、公共施設や設備の老朽化対策、未利用財産の利活用についてはさらなる推進を求めます。今後、災害や新型コロナウイルス

反対

▼市民の命のとりでである市立大津市民病院への財政支援の継続と、コロナ禍でその存在価値を示した支所の維持と職員の増員を求めます。また、コンサルタント会社への多額の委託費用や過度な民間委託の推進は改めるべきです。全体として削減ありきで市民に寄り添う予算執行とは言いえず、市民福祉の後退につながっており、反対します。

▼ごみ処理施設の改築更新、市

今後、健全財政の堅持に努め、バランスの取れた効率的な予算執行に一層努力されることを期待し、賛成します。